

# 第60回 全国社会教育研究大会 青森大会

平成30年度 東北地区社会教育研究大会  
第63回東北地区公民館大会  
第50回青森県社会教育研究大会

平成30年

10月24日 [水] ~ 26日 [金]

全体会

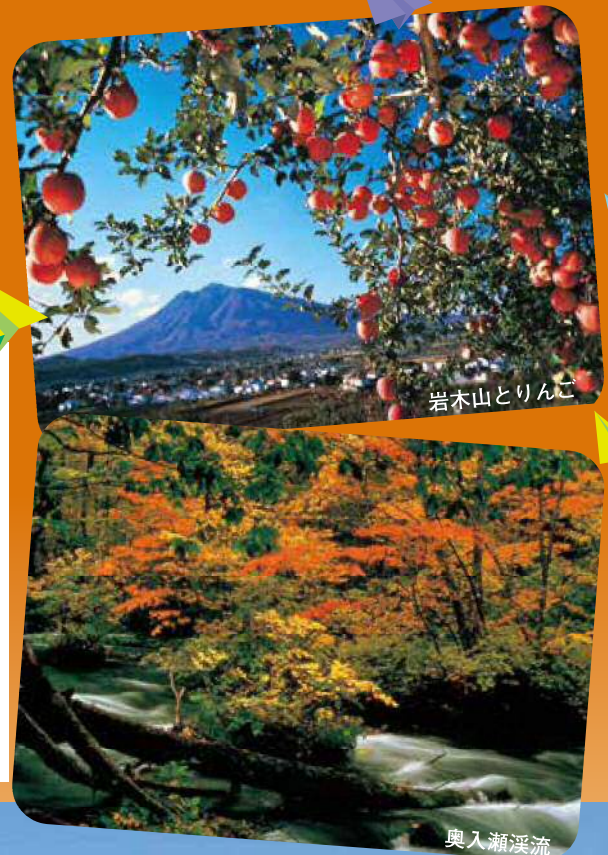
リンクステーションホール青森

青森市堤町1丁目4-1 TEL 017-773-7300

分科会

リンクステーションホール青森及び  
青森国際ホテル

青森市新町1丁目6-18 TEL 017-722-4321



大会スローガン

社会教育の新たな種を広めよう  
青い森から全国に

研究主題

課題をチャンスに  
持続可能な未来を創る社会教育の実践を

趣旨

今日の我が国を取り巻く諸情勢の急激な変化に伴い、社会全体の活力の低下が懸念されております。本大会では、研究主題を「課題をチャンスに 持続可能な未来を創る社会教育の実践を」と設定し、これからの社会教育の活性化につながる大会にしたいと考えています。

三内丸山遺跡

主催

一般社団法人全国社会教育委員連合、東北地区社会教育委員連絡協議会  
東北地区公民館連絡協議会、青森県社会教育委員連絡協議会  
青森県公民館連絡協議会、青森県教育委員会、青森市教育委員会  
第60回全国社会教育研究大会青森大会実行委員会

# 第60回全国社会教育研究大会青森大会

平成30年度 東北地区社会教育研究大会  
 第63回東北地区公民館大会  
 第50回青森県社会教育研究大会



**参加対象** (参加料5,000円 ※参加資料代として)

都道府県・政令指定都市・市区町村の社会教育委員及び社会教育関係職員、  
 公民館職員、社会教育関係団体、その他生涯学習・社会教育に関心のある方

## 日 程

種差海岸		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
10/25(木)				受付 11:00~12:30	シア ヨトラ ク 12:30~ 13:00	開会 行事 13:00~ 14:00	休 憩	記 念 対 談 14:20~ 15:20	休 憩	シン ポ ジ ウ ム 15:40~17:20	閉 会 行 事 17:20~ 17:30	情 報 交 換 会 18:30~ 20:30
	10/26(金)	受 付 9:00~ 9:30	分 科 会 9:30~12:00		※10/25(木)の情報交換会の会場は「ホテル青森」となります。							
理事会等	10/24(水)	15:00~16:30 全国社教連理事会 17:00~18:15 都道府県・政令指定都市社教連等事務局担当者会議										
	10/25(木)	9:00~10:00 東北社教連理事会 10:00~11:30 全国社教連総会 17:30~18:15 東北公連理事会										



仏ヶ浦

## 分 科 会

研究主題に基づき、各テーマについて、「一人一人が未来を創るために何ができるのか」について、事例を「たたき台」として、地域の問題を解決し、課題を達成するための具体的なアイデアを出し合う場にしたいと思います。

分科会	テ ー マ	内 容
1	課題解決に挑戦する地域づくりと社会教育	地縁と志縁による地域づくりについて考える
2	新しい公民館の探求	地域社会の発展、活性化に寄与する人材を育む公民館のあり方について考える
3	地域全体でサポートする家庭教育	民間や学校と連携した家庭教育支援について考える
4	地域と学校の連携・協働の在り方	地域と学校の連携・協働が地域創生につながる活動について考える
5	地域を元気にするアクティブシニア	シニア・プレシニア世代が子どもたちと共につくる地域の未来について考える



斜陽館

問い合わせ先

**第60回全国社会教育研究大会青森大会実行委員会事務局**

〒030-8540 青森県青森市新町二丁目3番1号 青森県教育庁生涯学習課

TEL:017-734-9888 FAX:017-734-8272

E-mail:E-SHOGAI@pref.aomori.lg.jp

第60回全国社会教育研究大会青森大会  
平成30年度東北地区社会教育研究大会  
第63回東北地区公民館大会  
第50回青森県社会教育研究大会

開催要項

1 大会スローガン

社会教育の新たな種を広めよう 青い森から全国に

2 研究主題

課題をチャンスに 持続可能な未来を創る社会教育の実践を

3 趣旨

今大会は、昭和34（1959）年に第1回全国社会教育研究大会が開催されてから60回という節目の大会となります。

今日、少子高齢化やグローバル化など、我が国を取り巻く諸情勢の急激な変化に伴い、社会全体の活力の低下や我が国の国際的な存在感の低下などが懸念される中、東日本大震災の発生によってこれらの問題が一層顕在化・加速化した正に危機的状況にあります。

青森県は、日本の中でも特に速いスピードで人口減少と少子化・高齢化が進行しており、このまま人口が急速に減少すれば、地域のつながりや地域活動の担い手の減少により、地域の自立的な活動が弱体化してしまうことが危惧されています。

持続可能で活力ある社会を構築していくためには、「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会の構築を目指すことが大切です。直面する危機を回避するためには、個々人の自己実現、社会の担い手の増加、格差の改善、社会全体の生産性の向上、一人一人の絆の確保を図る必要があるといわれています。

このためには、「未来は変えることができる」、「課題は伸びしろの大きいチャンス」と、理念の実現に向かって社会教育関係者一丸となって挑戦していくことが求められていると思います。

そこで、本研究大会は、全国各地の社会教育委員をはじめとする社会教育関係者が一堂に会し、一人一人が未来を変えるためには何ができるのかを研究協議します。

4 期日

平成30年10月24日（水）～26日（金）

5 会場

〈全体会〉 リンクステーションホール青森（青森市文化会館）（青森市堤町1丁目4-1）

〈分科会〉 リンクステーションホール青森及び青森国際ホテル（青森市新町1丁目6-18）

6 参加者

都道府県・政令指定都市・市区町村の社会教育委員及び社会教育関係職員、公民館職員、社会教育関係団体、その他生涯学習・社会教育に関心のある方

7 主催

一般社団法人全国社会教育委員連合、東北地区社会教育委員連絡協議会、東北地区公民館連絡協議会、青森県社会教育委員連絡協議会、青森県公民館連絡協議会、青森県教育委員会、青森市教育委員会、八戸市教育委員会、第60回全国社会教育研究大会青森大会実行委員会

8 参加料

一人 5,000円（参加資料代として）

## 9 大会日程

第1日 10/24 (水)	15:00~16:30 全国社教連理事会											
	17:00~18:15 都道府県・政令指定都市社教連等事務局担当者会議											
第2日 10/25 (木)	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	東北社教連理事会	全国社教連総会 (~11:30)	受付 分科会 打合せ	アトラクション	開会行事	休憩	記念対談 14:20~15:20	休憩	シンポジウム 15:40~17:20	開会行事	東北公連理事会	情報交換会 ~20:30
第3日 10/26 (金)	9:00	10:00	11:00	12:00								
	受付 9:00~ 9:30	分科会 9:30~12:00										

## 10 大会内容

### 10月25日(木) 全体会 (受付 11:00~12:30)

《アトラクション》 12:30~13:00

青森県立田子高等学校郷土芸能部「田子神楽とナニヤドヤラ」

《開会行事》 13:00~14:00

開会挨拶、一般社団法人全国社会教育委員連合等表彰

《記念対談》 14:20~15:20

演題：「課題をチャンスに 持続可能な未来をつくる社会教育の実践に向けて」  
～地方創生における社会教育委員の役割～

講師：青森県知事 三村 申吾 氏

東北福祉大学大学院総合福祉学研究所社会福祉学専攻教授 大橋 謙策 氏

(一社)全国社会教育委員連合前会長

《シンポジウム》 15:40~17:20

テーマ：社会教育の実践の活性化に向けた社会教育委員の「見える化」

コーディネーター：青森県社会教育委員連絡協議会 会長 内海 隆

シンポジスト：

尚絅学院大学学長 合田 隆史 氏

香川大学生涯学習教育研究センター センター長・教授、(一社)全国社会教育委員連合理事 清國 祐二 氏

弘前学院大学准教授 生島 美和 氏

長野県社会教育委員連絡協議会会長 小池 玲子 氏

### 10月26日(金) 分科会 (受付 9:00~9:30)

#### ◎分科会のコンセプト

研究主題「課題をチャンスに 持続可能な未来を創る社会教育の実践を」に基づき、各テーマについて、「一人一人が未来を創るために何ができるのか」について、事例を「たたき台」として、地域の問題を解決するための具体的なアイデアを出し合う場とする。

#### ◎分科会テーマ

	テーマ	内容
1	課題解決に挑戦する地域づくりと社会教育	地縁と志縁による地域づくりについて考える
2	新しい公民館の探求	地域社会の発展、活性化に寄与する人材を育む公民館のあり方について考える
3	地域全体でサポートする家庭教育	民間や学校と連携した家庭教育支援について考える
4	地域と学校の連携・協働の在り方	地域と学校の連携・協働が地域創生につながる活動について考える
5	地域を元気にするアクティブシニア	シニア・プレシニア世代が子どもたちと共につくる地域の未来について考える

## 各分科会の概要

### 第1分科会

#### 課題解決に挑戦する地域づくりと社会教育

<運営担当>中南教育事務所、中南地方社会教育委員連絡協議会

内容：地縁と志縁による地域づくりについて考える。

##### ◆事例発表

##### ①ローカル線を支える取組から学ぶ地域の活性化

青森県五所川原市 津軽鉄道株式会社代表取締役社長 澤田 長二郎 氏

##### ②地域のつながる基盤を活かした連携・協働による安全で安心できる地域づくり

～高齢者と防災をキーワードに～

福島市吉井田学習センター館長 矢吹 稔 氏

◆コーディネーター：弘前大学大学院地域社会研究科准教授（青森県社会教育委員） 土井 良浩 氏

◆助言者：（一社）全国社会教育委員連合副会長・常務理事 馬場 祐次朗 氏

### 第2分科会

#### 新しい公民館の探求

<運営担当>青森県公民館連絡協議会

内容：地域社会の発展、活性化に寄与する人材を育む公民館のあり方について考える。

##### ◆事例発表

##### ①災害時の対応と公民館を拠点とした震災からの復興の取組

青森県八戸市立小中野公民館館長 奥山 二三夫 氏

##### ②新しい公民館の活用とコミュニティづくり

青森市 カッチャート・プロジェクト代表（青森市社会教育委員） たかはしたかこ 氏

◆コーディネーター：青森明の星短期大学学長 石田 一成 氏

◆助言者：弘前大学名誉教授 佐藤 三三 氏

### 第3分科会

#### 地域全体でサポートする家庭教育

<運営担当>西北教育事務所、西北地区社会教育委員連絡協議会

内容：民間や学校と連携した家庭教育支援について考える。

##### ◆事例発表

##### ①地域で支える子どもの育ち

NPO 法人はちのへ未来ネット代表（青森県八戸市社会教育委員委員長） 平間 恵美 氏

##### ②学校・地域・家庭・事業所・市が協働した、市民総ぐるみでの子育て支援

鹿児島県始良市社会教育委員の会委員長 吉川 成子 氏

◆コーディネーター：八戸学院大学短期大学部ライフデザイン学科長・教授（青森県社会教育委員） 茂木 典子 氏

◆助言者：文教大学教授（（一社）全国社会教育委員連合理事） 金藤 ふゆ子 氏

### 第4分科会

#### 地域と学校の連携・協働の在り方

<運営担当>上北教育事務所、上北地方社会教育委員連絡協議会

内容：地域と学校の連携・協働が地域創生につながる活動について考える。

##### ◆事例発表

##### ①小中高における地域との連携・協働

山形県小国町教育委員会教育振興課学校教育専門員兼指導主事 加藤 郁子 氏

##### ②青藍の心を通して 文化創造のまちづくり

佐賀市立嘉瀬公民館主事 永渕 薫 氏

◆コーディネーター：弘前大学教育学部准教授（青森県生涯学習審議会委員） 松本 大 氏

◆助言者：大分大学教授（（一社）全国社会教育委員連合副会長） 山崎 清男 氏

### 第5分科会

#### 地域を元気にするアクティブシニア

<運営担当>下北教育事務所、下北地方社会教育委員連絡協議会

内容：シニア・プレシニア世代が子どもたちと共につくる地域の未来について考える。

##### ◆事例発表

##### ①青森県教育委員会「アクティブシニアによる地域の未来応援事業」における実践例から

青森県野辺地町 チーム野OPEN代表（青森県社会教育委員） 前田 智子 氏

##### ②敬師のこころを核とした2つの地域の小、中学校の交流の促進

山形県米沢市 敬師の里未来づくり委員会委員長 高橋 三男 氏

◆コーディネーター：NPO 法人テイクオフみさわ顧問（前・青森県生涯学習審議会会長） 太田 博之 氏

◆助言者：山形大学地域教育文化学部准教授（山形県社会教育連絡協議会会長） 安藤 耕己 氏